

事務事業名		市役所庁舎前線道路新設事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		
	施策名	良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		
	基本事業名	生活道路の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 H25 年度～ R3 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目		
所属	部課名	都市整備部建設課		事務事業区分	A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	金野 尚一				
	係名	土木係	電話			0192-27-3111
	担当者	小松 奨史	内線			316
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
本路線は、市道宇津野沢権現堂線を起点とし、市道盛小学校線へ通じる路線である。 今回の整備は、防災拠点である市役所への既設道路が市道宇津野沢権現堂線への1方向しかないので、有事の際、市役所利用者や職員の市役所へのアクセスが不便な状況である。今回の改良により、大船渡市役所及び市道盛小学校線へのアクセスの利便性や現道の拡幅・急勾配区間の解消が図られる。 【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 平成25年度～H26年度 ・用地測量・補償調査(1式) 平成27年度 ・用地買収、補償業務 平成29年度～31年度 ・工事施工370m 平成31年度～令和4年度 本事業の完了は、令和4年度の予定である。 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。				総投入量(千円)	国庫支出金	87,855
					都道府県支出金	
					地方債	79,012
					その他	
					一般財源	8,844
					事業費計(A)	175,711
				正規職員従事人数	6	
				延べ業務時間	960	
				人件費計(B)	3,840	
				トータルコスト(A)+(B)	179,551	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
工事施工		ア	用地買収面積
			m <sup>2</sup>
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	整備延長
工事施工		ウ	
			m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道市役所庁舎前線、盛保育園2号線、新設道路		名称	
		単位	
		カ	計画総延長
			m
		キ	主たる利用者数(市民全員)
			人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
利便性が向上するとともに、安全に通行できる。		名称	
		単位	
		サ	十分な幅員で舗装された供用開始道路延長
			m
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)
安全で快適に移動できる。			%
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移										
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)		
		単位								
投入量	事業費	国庫支出金	千円	38,569	35,036	14,250	-	-	-	
		都道府県支出金	千円				-	-	-	
		地方債	千円	34,712	31,500	12,800	-	-	-	
		その他	千円				-	-	-	
		一般財源	千円	3,858	3,536	1,450	-	-	-	
			事業費計(A)	千円	77,139	70,072	28,500	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	-	-	-	
		延べ業務時間	時間	320	320	320	-	-	-	
		人件費計(B)	千円	1,280	1,280	1,280	0	0	0	
				トータルコスト(A)+(B)	千円	78,419	71,352	29,780	0	0
⑤ 活動指標		ア	m <sup>2</sup>	0	0	0	-	-	-	
		イ	m	0	286	80	-	-	-	
		ウ		-	-	-	-	-	-	
⑥ 対象指標		カ	m	366	366	366	-	-	-	
		キ	人	34,796	34,224	34,128	-	-	-	
		ク		-	-	-	-	-	-	
⑦ 成果指標		サ	m	0	84	366	-	-	-	
		シ	%	0	23	100	-	-	-	
		ス		-	-	-	-	-	-	


事務事業ID	1440	事務事業名	市役所庁舎前線道路新設事業
--------	------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	防災拠点である市役所への既設道路が市道宇津野沢権現堂線への1方向しかないため、有事の際、市役所へのアクセスの向上及び交通安全の確保を図るため、平成25年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解度が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	早期完成を強く要望されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 改良整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象区間は行き止まり形状であり、この事業により解消され、利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で改良整備を行う道路計画となっていることから、これ以上の成果向上の余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 交通の安全性に欠き、快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施することから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<b>(1) 改革改善の方向性</b>		<b>(2) 改革・改善による期待成果</b>																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む)  ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<b>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b>																								
令和4年度に事業完了予定。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

**4 課長等意見**

<b>(1) 今後の方向性</b>	<b>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</b>
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	令和4年度に事業が完了する予定である。事業効果の早期発現に向けて着実に事業を進めている。